

図書館・美術館の事業と予定

図書館 1月の予定

・乳幼児リトミック教室

1月9日（水）午前10時30分～

講師：佐野貴子先生／長洞まゆ先生

・乳幼児お話会 のんたんのへや

1月16・23・30日（水）午前10時30分～

（場所）図書館視聴覚室

・わくわくお話会 図書館ボランティア ほたるの会

1月14日（月）午後1時30分～

お正月にふさわしい かるたやふくわらい

（ほたるの会の皆様の手作りおしるこがいただけます。）

・図書館映画会

1月19日（土）午後3時～

（場所）図書館視聴覚室

・星空観測会

1月29日（火）午後7時～

参加される方はお申し込みが必要となります。

問合せ先：文化館 事務室まで ☎62-9292



図書館講座が開催されました。

図書館ボランティアのスキルアップ講座が1月23日（金）に椿屋人形劇場の安部智恵子先生を講師に招き、人形制作と演じ方について教えていただきました。日頃活躍されている皆様だけに制作も手早く、即興で演じる人形劇も実力を発揮され、充実した講座となりました。今後の各グループの出し物がとても楽しみです。



・熱心に聞き入るボランティアの皆様

美術館 1月の予定

望月勅雄作品展

1月12日（土）～2月11日（月）

入館料：無料

四季折々の風景画、そして植物や小動物など繊細なタッチで様々な作品を数多く残されている望月勅雄先生の作品展を開催いたします。

日々図書館ご利用の皆様にはぜひお気軽に作品鑑賞をしていただき現代水墨画の素晴らしさを実感していただきたいと思います。

望月勅雄（ときお）氏

身延町梅平在住、郵便局長を退官後に始めた墨絵で、のちに講師となり展覧会への出品、講演を精力的に行い、日書画展特選、台北国際水墨画展優選賞をはじめ、受賞多数。国際書画連盟理事・審査会員、国際墨彩画美術協会副会長など務める。平成30年8月には、内閣総理大臣・瑞宝双光章を受章。

・宮西達也絵本原画展「わーい なんだァーランド展」が開催されました。



・展示室で工作をする園児たち



新刊・話題本コーナー



身分としきたりに縛られた武家の暮らし。仇討、就活、剣術、婿入り、罪と罰。切なくも可笑しい人生の諸相を描いた時代小説短編集。講談社



火事で店を失った秋成は、幼なじみの雨月が結ぶ庵に居候することに。「雨月物語」に現代的解釈を試みた珠玉の連作短篇集。中央公論新社



親友、そして愛犬との永遠の別れ。最大の悲しみの中で見つけた、心をたもつ秘訣とは。爽快な人生哲学。幻冬舎



歴史の裏通りや路地を歩きたい。ひたむきに時代を見つめ続けた著者による、九州から京都を中心にした旅エッセイ。朝日新聞社



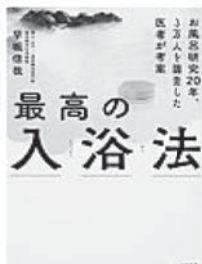
108、それは煩惱の数。妻から思いもかけない告白をされた脚本家・海馬五郎。彼が挑む悪夢の決算とは。2019年映画化。講談社



神話とともに誕生し、万世一系の天皇を中心に、独自の発展を遂げてきた日本。国家の変遷を、「古事記」「日本書紀」など多くの史書を参考に記した壮大なる叙事詩。幻冬社



ダ・ヴィンチ、フェルメールから、伊藤若冲、アンディ・ウォーホル、村上隆まで。古今東西の美術家181名を取り上げ、美しい図版とともに紹介する。ポプラ社



いつもの入り方をちょっと変えるだけで、血流アップ自律神経が整う! 温泉療法専門医が入浴の健康効果について解説し、疲労回復のための入浴法を紹介する。大和書房



「育てにくい子」へのダメ出しをいどころと捉えようと子どもが変わる! 乳児期、幼児期、小学生、思春期の発達段階別に子どもの独自の特徴を才能とて活かす方法とは。



日本初! 全国2次医療圏別全リスト。地域による衝撃の死亡格差が明らかになった。その原因とは何か明らかにする。中央公論新社

話題本



「考えるとはどういうことか」0歳から100歳までの哲学入門
梶谷真司 著 幻冬社

対話を通して哲学的思考を体験する試みとしていま注目の「哲学対話」。その実践から分かった、考えることそのものとしての哲学とは? 生きている限り、いつでも誰にでも必要なまったく新しい哲学の入門書です。